

# 学外実習マニュアル

学外実習は卒業に必要な科目のひとつであり、本校の建学の理念の一つである実学教育の実践の場として実施されます。専門職として実習現場での実践を通して、自らの役割の重要性を理解し、チーム医療の一員として責任と役割を自覚し、学ぶことを目的としています。また、将来の就職、どのような専門分野を選択するか、その方向性を定めていくためにも大変重要です。

実習施設での学生の受入れは、実習施設がこれからの専門職の育成のために、日々の公務の時間の中で、指導していただいていることを忘れてはなりません。実習生という立場を十分わきまえ、実習指導者の指示に従い、報告・連絡・相談をし、指導を仰ぎます。服装・髪型・爪・化粧などの身だしなみに気をつけ、専門職を志すものとして人に不快感を与えることがあってはなりません。挨拶やお礼、謝罪などの言葉遣い、整理・整頓など礼儀正しく行動し、レポートや課題などの期限、指示された行動などの約束は必ず守る、自己の健康管理に気をつけることも大切なことです。

そして、専門職としての守秘義務を十分理解し、実習中知りえた患者さんの情報については、一切他言しないこと、患者さんを尊重し誠意を持って接すること、立ち位置や姿勢に気を配るなど、患者さんへの配慮を常に心がけることが大切です。

少しでも多くのことを学ぼうという積極的な意欲と、学ばせていただくという謙虚な気持ちをもって取り組めば必ず実り多い実習を経験できるに違いありません。チーム医療の一員であることを理解し、またチーム医療にかかわる医療スタッフからのさまざまな意見を取り入れ、また自分の考えを正確に伝えることで専門的成熟と判断を養うことができます。今後、自分が身につけたい専門性を鑑みて、より深くそれぞれの現場での知識・技術を修得することで、専門職を目指す上で必要な責任ある態度や行動がとれるようになり、自らの仕事の領域を深く理解するだけでなく、他の部門や職種についても理解を広げることができます。

学外実習先としての病院、福祉施設、義肢製作所、企業等において、実習前、実習中、実習後に専門職を目指す学生としての行動ができるよう指導して下さい。